

2010年11月に、元日本代表のジェイムス・W・エックルが、再度アメリカ大豆協会日本代表に就任

エックルの略歴は下記の通り：

1990年から1998年までアメリカ大豆協会（ASA）東南アジア地域代表、1998年から2001年まで日本代表を務めた後、ASAを退職。2001年9月にオーストラリアの飼料添加物会社バイオミンのシンガポール研究所のアジア地域CEOに就任、2003年にベトナムへ転勤、バイオミン・ベトナムのCOOとして南ベトナムの市場開拓、ホーチミン市に事務所を開設。2008年にオーストラリア規定の退職年齢に達したため、バイオミンを退職。その後、ベトナムで双日のパナマックス用港湾施設建設スペシャルプロジェクトの2年契約コンサルタントを務めた。

インディアナ州出身、過去44年の内の約42年間はアジア・パシフィック地域に在住。アリゾナ州グレンデールのサンダーバード国際経営大学院より国際経営で修士取得。日本人妻との間に東京在住の息子が1人いる。

